TP-128 サーマルヘッド印字調整手順

「1.テスト印字発行手順」を行った後に「2.サーマルヘッドの調整」を実施してください。

【準備物】

■必須 ・プラスドライバー(2番)

1. テスト印字発行手順

1 電源が切れている状態で FEED と PAUSE を押し ながら電源を入れます。

電源を入れると<1>DIAG. と表示されます。



2 FEEDを2回押し、〈3〉ADJUST SETと 表示されたら 【熱転写の場合】 PAUSEを5回押します。 【直接感熱の場合】 PAUSEを6回押します。



3 FEED ボタンを 5 回押し、「-5」に値を変更し、 PAUSE を 1 回押します。



- TEST PRINT CONDITION POWER 【透過】 PAUSEを3回押し、2行目にTRANS.と 表示されたら PAUSE を1回押します。 POWER 【反射】 PAUSEを3回押し、FEEDを2回押します。 2 行目に REFLECT.と表示されたら PAUSE を1回押します。 POWER INI 7 【熱転写の場合】 【熱転写】 TRANSFR と表示されていることを確認し、 PAUSE を1回押します。 POWER ON LINE FEED を1回押し、DIRECT と表示 【直接感熱】 されたら PAUSE を1回押します。 POWER
- 5 FEED を1回押し、〈4〉TEST PRINT 画面で PAUSE を1回押します。

4 FEED と RESTART ボタンを同時に押し、

〈3〉ADJUST SETの画面に戻ります。

(液晶画面の2行目が消えます)

- 【透過の場合】 6
 - 【反射の場合】

【直接感熱の場合】





 8 PAUSE を1回押すと、LEBEL LEN. OOmm と表示されます。
FEED や RESTART でご使用されている ラベルピッチに値を変更します。

・実際のラベルピッチ
(ラベル長+ギャップ)に合わせます。
※FEED ボタンで -1
RESTART ボタンで +1 されます。

9 PAUSE を1回押し、FEED と RESTART ボタン を同時に押すと〈4〉TEST PRINT の画面に戻り ます。(液晶画面の2行目が消えます)





10 PAUSE を1回押し、FEED を2回押します。

SLANT LINE(3DOT) と表示されているか確認してください。

11 PAUSE を1回押すとテスト印字が発行されます

 ※1 度テスト印字を発行すると、液晶画面 2 行目が 消えます。
2 度目以降に発行する場合は、
<4>TEST PRINT 項目で PAUSE を 2 回 押すことでテスト印字が発行されます。





2.サーマルヘッドの調整

12 手順 11 までのテスト印字設定が出来たらサーマルヘッドの調整を行います。 (画面は手順 11 の〈4〉TEST PRINT のままで調整してください)

サーマルヘッドを固定している固定用ネジ、 調整用ネジの4カ所をプラスドライバー(2番)で 緩めます。

※ネジを取り外さないように注意してください。





★【熱転写の場合】

熱転写の場合はリボンがサーマルヘッド部分を覆っているため、巻取り側のリボンを シャフトから取り外して、ネジを緩めます。



13 サーマルヘッドが手で動かせるくらいまで 緩めます。



14 サーマルヘッドを奥まで押し込み、PAUSE を押し テスト印字を発行します。



15 印字状態を確認し、より濃く印字されるサーマルヘッドの位置に調整してください。



☆調整のポイント☆

印字が綺麗に出る位置が見つからない場合は、サーマルヘッドを一番手前に引き出し、マイナス ドライバー小(2mm 程度)等の先端をサーマルヘッドのフレームに当て、ハンマー等で叩く事で より細かい調整が行いやすくなります。



16 調整したサーマルヘッドの位置が動かないように ネジを固定します。

※一度にネジを固く締めると、
サーマルヘッドが動いてしまうため
固定用ネジと調整用ネジの
4 カ所を均等に仮止めしてから、
最後にしっかりと締め直して
ください。



<u>以上の作業で、印字調整の作業が終了しました。</u> 実際にデータを転送して印字し、状態を確認して下さい。

'24 年 11 月第 2 版